

## 与論島の活性化のために

農学部食料生命科学科 1 年 上芝原日菜

私は今回の集中講義で、初めて与論島に行った。正直、今回の機会がなかったら与論島について考えたり実際に足を運んでみたりしなかったと思う。4日間滞在して、感じたことは島の人の温かさである。初日には与論島のおすすめの場所を島の方から教えてもらったり、最終日には荷物を持って歩いていると、車で目的地に送って下さったりととても親切にしてくれた。そのため、より多くの人々に与論島のよさを知ってもらいたいと感じた。今回の講義を通して与論島がより活性化するためには、多くの課題があることを知った。それを解決するためにはどうすればいいか考えてみた。

まず、交通アクセスについてである。話をきいて驚いたことは東京から那覇までの飛行機代より那覇から与論島までの飛行機代のほうが高くついてしまうことがあるということだ。東京から那覇までは格安航空券があるため、価格を抑えることができる。そのため、わざわざ与論島まで来ようと思う人が少なくなってしまうのだと思う。那覇から与論島までの安くしてほしいと島の方々も言われていて、これが実現したら、必ず観光客が増えると考えます。また、島の中での移動手段についてである。私は主に自転車と徒歩で移動していたが、上り下りが多いことに気づいた。そのため、自転車に乗っていても結局は押して歩いたりした。レンタルできる施設がガイドマップに掲載されていたが、自動車、原付バイク、自転車のどれかの貸し出しということだった。免許を取得していない人は自転車を使用するということになる。そこで、電動自転車の貸し出しをしたらいいのではないかと考える。そのほうが疲れも出ず、より多くの場所を回れると思う。

次に、宣伝方法についてである。きれいな海があるというのは大きな財産であると思う。しかし、正直私は海のほかにどこに行こうか悩んだ。海を売りにしていくのはとてもいいと思う。それに加えて、海のほかのおすすめスポットの情報を記載するともっといいと考える。与論島の郷土料理やトロピカルフルーツについての宣伝も多くするといいと思う。与論島の物産展などを開くのもいいだろう。私は鹿児島に住んでいながら、与論島の観光スポットやグルメについて全然知らなかった。私と同じ人は多くいると思う。そのため、鹿児島県内でも物産展を開くといいと考える。それをきっかけに鹿児島県内の人々にもっと知ってもらうことができる。そして与論島に行きたくなる人が増えると思う。特に大学生に知ってもらうことはたくさん効果があると思う。県外から来ている人が多いため、そのうちの一人が与論島にきて SNS に情報を発信したら、県外の友達まで届く。そして私も行きたいと考える人が増えるだろう。また、島に住んでいる若い女性に SNS で与論島の写真を載せてもらったりホームページを作る仕事を任せたりするのもいいと思う。都会の人通りの多いところに写真を貼るのもいいと考える。

最後に島の財政についてである。予算が足りないという話をきいた。そのとき、私はふるさと納税の分をもっと増やせばいいのではと考えた。実際に調べてみると、観光地として最も有名な百合ヶ浜のツアー割引券をはじめ多くのものがあった。そのため、寄附によりこのようなものがもらえると百合ヶ浜の宣伝の際に紹介していくといいと考える。

今回与論島にきて、本当によかったと思う。きれいな海を見たりおいしい食べ物を食べたりといい思い出ができた。与論島をさらに多くの人々が訪れることを願っている。